

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 31期(2022年8月～2023年7月)



株式会社 飯田電機

〒426-0201 静岡県藤枝市下藪田152番3

TEL 054-638-3336 FAX 054-638-3337

発行日：2023年10月1日

目 次

表紙	1
目次	2
環境方針	3
事業概要	4
実施体制	5
環境目標と実績	6
月別環境活動実施計画	7
活動内容写真	8
環境活動の評価と今後の取組	10
環境関連法規等の遵守状況	13
代表者による評価と見直し	14

環境方針

基本理念

株式会社飯田電機は電気設備工事及び太陽光発電・蓄電池システムの事業活動を通じて「地球にやさしい環境づくり」を提案、提供する事を経営理念とし、社員一丸となって地球環境の保護及び地域社会の環境向上に積極的に取り組んでいきます。

行動指針

1. 電力消費量の削減及び、ガソリンの使用量を削減し、CO2排出の低減に努めます。
2. 産業廃棄物の排出量を削減します。
3. 総排水量は維持管理に努めます。
4. 省エネ商品の提案、及び環境に配慮した工事(太陽光発電・蓄電池システム)(LED照明)(エコキュート設備)を推進します。
5. 環境関連の法規等を遵守します。
6. 化学物質の適正な使用及び管理を徹底致します。
7. 事務用品等のグリーン購入に努めます。
8. 環境方針、目標を全社員に徹底し、環境保全・省エネルギーに対する改善、向上に努めます。
9. 環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行ないます。

制定日 2015年 8月 1日

改定日 2021年 8月 1日

株式会社 飯 田 電 機
代表取締役 飯 田 敏 之

事業の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 飯田電機
代表取締役 飯田敏之

2. 所在地

本社 〒426-0201 静岡県藤枝市下藪田152番3(登記上のみ)
事務所 静岡県藤枝市下藪田149-9
店舗 静岡県藤枝市下藪田141-7
倉庫 静岡県藤枝市下藪田152-3
対象組織 株式会社飯田電機 本社・倉庫、事務所、店舗
対象活動 電気工事業
(電気設備工事、太陽光発電・蓄電池システムの設計・施工)

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 飯田 弘子
環境管理事務局 山田 瑞穂
TEL 054-638-3336 FAX 054-638-3337
Email iida-@thn.ne.jp

4. 事業内容

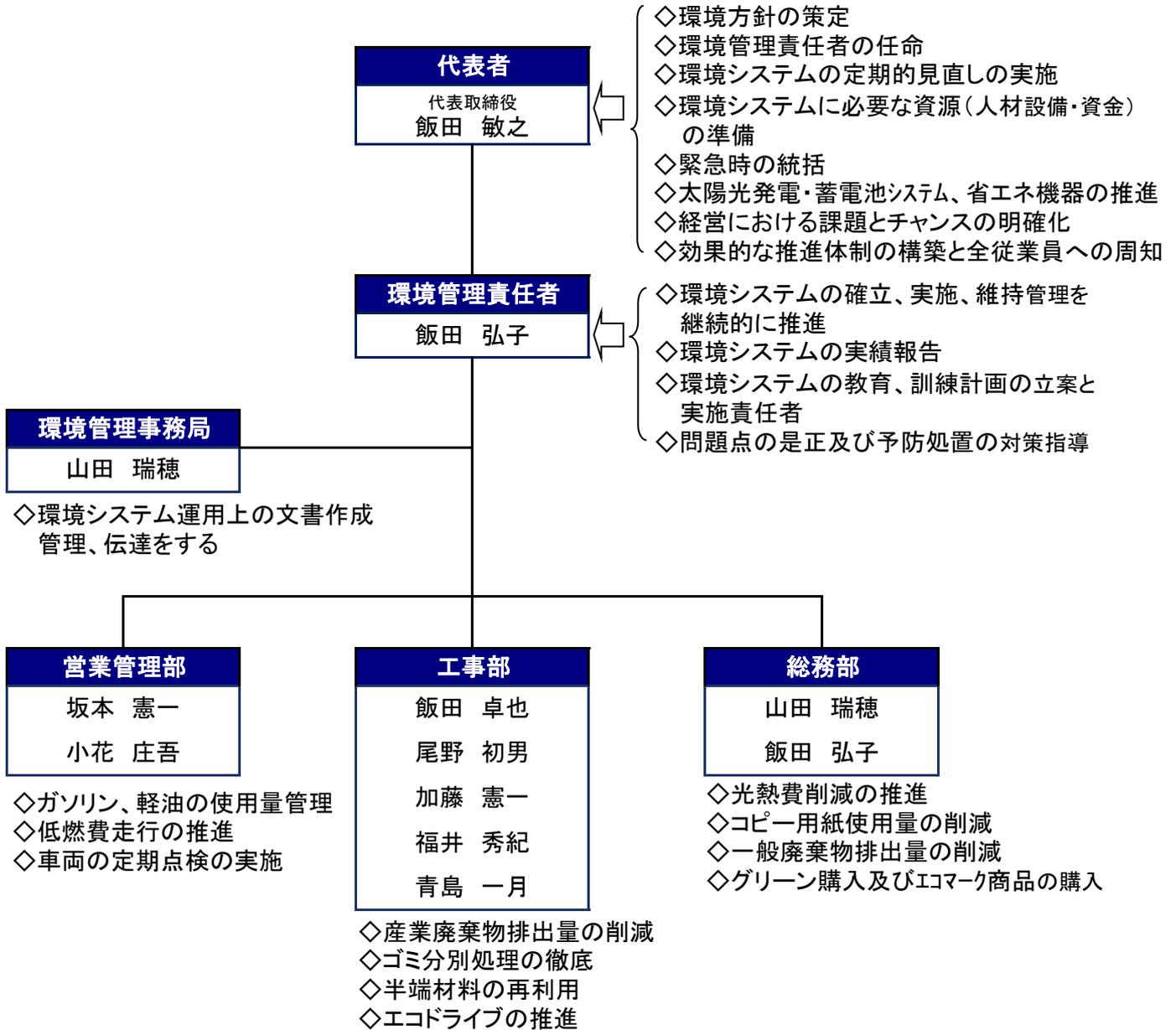
建設業の許可 静岡県知事(般-2)第10159号
(有効期限:令和7年10月14日)
電気工事業
業務内容 電気設備工事の設計及び施工
太陽光発電・蓄電池システムの設計及び施工
LED照明システムの設計及び施工

5. 事業規模

決算期間 (期首 8月1日 期末 7月末日)

活動規模	単位	27期	28期	29期	30期	31期
		2018年~2019年	2019年~2020年	2020年~2021年	2021年~2022年	2022年~2023年
売上高	百万円	123	112	228	132	123
従業員	人	10	10	9	9	9
床面積	m ²	368	368	368	368	368

《エコアクション21実施体制》



○各部署の担当者は、担当部署の役割のみならず、関係を取りながら活発に意見交換し環境システム改善に努める。

○立案された環境改善計画、目標に対して全社員全力で取り組む。

環境目標と実績

1. 環境目標（長期）

令和2年度以降の環境目標は、平成29年度から令和1年度の平均値を基準として毎年1%削減で設定する。尚LPGについては使用量が少ないため、削減目標を設定しないが使用量の管理を行う。

取り組み項目		単位	2017年～2019年 平均値	2020年度	2021年度	2022年度	
			基準値	1%削減	2%削減	3%削減	
二酸化炭素排出量	購入電力	Kwh	7,770	7,692	7,615	7,537	
	化石燃料	ガソリン	L	3,457	3,422	3,388	3,353
		軽油	L	4,816	4,768	4,720	4,672
	年間排出量(Kg-CO2/年)			24,396.5	24,152.5	23,908.6	23,664.6
廃棄物排出	産業廃棄物	kg	4,807	4,759	4,711	4,663	
太陽光発電・蓄電池システム、省エネ機器の売上実績			91件	93件	95件	97件	

※排出係数は0.433(中部電力パワーグリッド(株) 2020年度)

- ◆ 一般廃棄物、総排水量、LPGの削減は、環境負荷が少なく、改善活動が定着した為環境目標や環境活動計画は作成せず、実績を把握し維持管理を行っています。
- ◆ グリーン購入の推進については、目標設定はありませんが、今後も記録を継続しグリーン購入を推進していきます。

2. 2022年度 実績・評価

取り組み項目		単位	2017年～2019年 平均値	2022年度		結果	
				2022年8月～2023年7月			
			基準値	3%削減	実績値		
二酸化炭素排出量	購入電力	Kwh	7,770	7,537	8,661	×	
	化石燃料	ガソリン	L	3,457	3,353	3,142	○
		軽油	L	4,816	4,672	3,558	○
	年間排出量(Kg-CO2/年)			24,396.5	23,664.6	20,256.9	○
廃棄物排出	産業廃棄物	kg	4,807	4,663	2,640	○	
太陽光発電・蓄電池システム、省エネ機器の売上実績			91件	97件	85件	×	

※排出係数は0.433(中部電力パワーグリッド(株) 2020年度)

※ ○は目標値に達成 △は基準値のみ達成 ×は基準値、目標値共に未達成

- ◆ 2010年 窓ガラスの断熱・節電コーティングを施工
- ◆ 2011年 電気自動車の購入
- ◆ 2012年 ハイブリット自動車の購入
- ◆ 2013年 太陽光発電設備の設置
- ◆ 2014年 自社事務所、LED蛍光灯に交換
- ◆ 2015年 自社事務所、空調機を省エネタイプに交換

活動内容

エアコンの設定・節電への取組み



エアコン設定表示
(冷房 28℃ 暖房20℃)



断熱・節電コーティング
事務所1F・ショールーム
窓ガラス全面施工



LED蛍光灯交換(事務所)

節水への取組み



キッチン節水表示



トイレ節水表示



雨水溜め桶の設置

CO2削減の取組み



電気自動車



ハイブリット車



グリーンカーテン

活動内容

社会・地域貢献活動



地域貢献活動として、カーブミラーの清掃を行いました。



エコキャップを集めて
再資源化を推進



フィリピン医療を支える会
歯ブラシ収集



使用済み眼鏡の回収

建設現場での分別状況



環境活動の評価と今後の取組

電力消費削減



活動内容	結果
①不要時の照明の消灯(店舗・事務所・倉庫) (昼休みの時間帯は消灯する)	○
②エアコンの温度設定管理 (夏場28度・冬場20度の設定を基本とする)	◎
③照明器具及びエアコンのフィルターの清掃	◎
④クールビズ・ウォームビズの励行	◎

評価と今後の取組

今期はエアコンの温度設定管理を徹底したので電力使用量が減少した。引き続き使用電力の削減を推進していきたい。

ガソリン・軽油の削減



①エコドライブの実践を行う	◎
③無駄な荷物を積まない	◎
③無駄の無い走行ルートを選択	○
④適切な車輛整備の実施	◎

評価と今後の取組

遠方での工事が増えた為ガソリン、軽油の購入量の増加がありました。引き続き燃費管理をし社内教育を継続して行ないます。

環境活動の評価と今後の取組

総排水量削減



①水道使用時にこまめに蛇口を止める	◎
②トイレの大小のレバーの使い分けの徹底	○
③漏水点検	◎
④雨水利用(植栽への水やり時)	◎

評価と今後の取組

水の出しすぎをしないよう意識できた。引き続き節水を心掛け現状維持に努める。

省エネ商品の推進

①照明器具新規取付及び改修時、省エネ商品の提案を積極的に推進する(LED照明の提案)	◎
②省エネ形の蛍光管、水銀灯の使用の提案をする	○
③改修時、高効率の変圧器の交換の提案をする	◎
④太陽光発電・蓄電池システム使用の提案と推進	○

評価と今後の取組

官庁、民間事業所に環境にやさしい製品の販売及び顧客に対する環境情報を提供できた。引き続き環境配慮型製品を積極

グリーン購入の推進

①事務用品等のエコマーク商品の購入を積極的に推進します	○
-----------------------------	---

評価と今後の取組

物品等の購入にあたっては、価格だけでなく環境保全の観点を考慮し、環境負荷の低減に配慮した物品を購入するよう努めた。これからも対象商品の把握に努め、品目数を増やしていきたい。

環境活動の評価と今後の取組

廃棄物排出量削減

①現場にて発生した廃棄物の分別を徹底する	◎
②工事作業ミスによる廃棄量の削減	◎
③マニフェストによる適正管理	◎

評価と今後の取組

一般廃棄物は現状維持していく。産業廃棄物は工事の請負により増減するが、マニフェストに基づき廃棄物の分別を徹底する。工事作業ミスによる廃棄量の削減に努める。

リサイクルの推進

①ダンボール、紙類の再生利用	◎
②電線の再生利用	◎
③リサイクル品の分別回収の徹底 (ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルの蓋)	◎

評価と今後の取組

全社員、習慣化されている。これからも、継続して資源を無駄にしないように努めていく。

現場での環境活動

①材料は事前にチェックされ無駄が出ないように配慮	◎
②効率的で無駄のない作業をする	○
③工事不具合の削減	◎
④現場作業員に対する環境教育の徹底	○
⑤顧客クレームの撲滅	◎

評価と今後の取組

残材料を無駄にしないように活用している。今後も快適な現場環境を保つ為現場及び会社倉庫等の掃除を定期的にする。引き続き社内での教育を実施していく。

環境関連法規等の遵守状況

遵守確認者 飯田 弘子
 遵守確認日 2023年6月30日

適用される法規	適用内容	遵守状況
電気事業法	一般用電気工作物及び自家用電気工作物の保安の確保	○
電気工事法	電気工事士の免状取得者でなければ作業に従事できない	○
労働安全衛生法	健康の保持増進のための措置	○
産業廃棄物処理に関する法律	処理業者との委託契約の締結	○
	マニフェスト伝票の保管	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○
	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任 契約産業廃棄物業者の現地確認	○
フロン排出抑制法	フロン類の適正管理 3ヵ月ごとの簡易点検の実施	○
家電リサイクル法	処理伝票の保管	○
自動車リサイクル法	車両入れ替え時、適正に処理	該当無し
資源有効利用促進法	パソコン・ディスプレイの適正処分	該当無し

- ◆ 当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係当局よりの違反等の指摘並びに利害関係者からの訴訟も過去3年間ありません。

代表者による評価と見直し

評価

現在も引き続き、我々が扱う製品を日本が独自に生産出来ない為海外に頼る状態が続いている。外国依存が減らないことは高い燃料を買い続けるという事である。

いつまでこの高い燃料等の動向を心配して、会社を守らなければならないか弊社も岐路にさしかかっています。特に我々にのしかかっているのは「働き方改革」労働時間の短縮は単価の値上げの見直し等がすべてにおいて成立した社会になってからでないと中小零細企業は自力ではとても持ちません。ただし社員教育の一つとして環境保全を掲げ、社会の中でも貢献できる会社を目指します。

見直し

LED照明、省エネ機器（エアコン等）、再生可能エネルギー（太陽光発電）は今まで以上に力を入れていきます。

2023年 8月 1日

株式会社 飯田電機

代表取締役 飯田敏之